

はじめに

新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見通せない中、学校・教育委員会では令和3年度も感染症対策を徹底しながら、状況に応じて学習用情報端末を活用してオンライン朝の会や双方向オンライン授業を行うなど、子どもたちの健やかな学びを保障するための様々な取組を展開してきました。

時には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の学校連携観戦事業への参加を断念せざるを得なかったり、自然宿泊体験教室の実施に向けて日程変更を重ねるといった場面もありましたが、保護者の方々のご理解と子どもたちの学びへの意欲によって乗り切ることのできた一年であったといえるでしょう。

一方で、学校教育の将来を見据えた取組として、南部・西部地区における区立中学校の統合や、老朽化した小・中学校施設の更新に向けた準備も着実に進めてまいりました。

さらに、電子書籍の貸出・閲覧ができる「めぐろ電子図書館」をスタートさせて図書館サービスの一層の充実を図ったほか、教職員出退勤管理システムや学校徴収金管理システムを導入することで教職員の働き方改革も目に見える形で進展しています。

また、令和4年3月には学校教育施策の中期計画である「めぐろ学校教育プラン」を改定するとともに、新しい時代にふさわしい教育の情報化を進めるため「MEGUROスマートスクール・アクションプラン（教育情報化推進計画）」を策定しました。加えて、「目黒区生涯学習実施推進計画」を改定し、学び合い成長し合えるまちの実現に向けて、本計画に掲げる諸施策を推進していくこととしています。

令和4年度も、これら3計画をはじめとする諸計画に沿って、次代を担う子どもたちが知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を育むことができるよう、学校教育と生涯学習のさらなる質の向上に取り組んでまいります。

本書『目黒区の教育』は、令和3年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。目黒区の教育行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和4年8月

目黒区教育委員会
教育長 関 根 義 孝